

～子どもと向き合う時間の確保のために～

## 学校改革プロジェクト支援事業がスタートします！

### 事業内容

学校が抱える課題はますます複雑、多様化しています。こうした課題の解決には、教職員が子どもと向き合う時間を確保し、学力や体力の向上を図る取組みや、子どもの変化への対応ができる教育環境を作り出す学校改革が必要です。

この事業は、学校改革に主体的に取り組む学校を、県教育委員会が支援するものです。



### 平成 25 年度のモデル校が決定しました。

〈小学校〉	荒尾市立万田小学校	菊池市立花房小学校
	南阿蘇村立白水小学校	天草市立天草小学校
〈中学校〉	宇城市立小川中学校	山鹿市立鶴城中学校
〈県立学校〉	県立熊本北高等学校	



### これからのモデル校の取組み

モデル校は、学校改革支援チームと協力して、学校の実態調査や意識調査を行い、学校の課題を把握し、具体的な改革のプランを考えます。

8月中にそれぞれの学校改革プランを作成し、2学期から実行することになります。

※学校改革支援チーム・・・教育政策課及び県立教育センターの15名の職員で構成し、モデル校の学校改革を支援する組織

### 学校改革って、大変なこと？

教職員ならば、何かしら学校の課題を感じているのではないのでしょうか。大事なことは学校の課題を感じることです。「本校には課題はない」という学校は、すでに改善していく力を失っているようなものです。しかし、改革は大変そうだし、職員の意見も様々で思い切って取り組めないと考える人も多いでしょう。

改革には、大きなエネルギーが必要です。しかし、これを乗り越えない限り、いつまでも旧態依然の環境が続き、努力に比べ効果が少ないということになります。改革を成功させるには、校長のリーダーシップと全職員の協力が不可欠です。学校改革では、新しい学校のシステムを創造し、教育効果の高い学校を作っていきます。学校改革は楽なことではありませんが、改革が全職員の協力のもとで行われれば、必ず成し遂げられるはずですよ。

「やって良かった」とだれもが思える学校改革に向けて、全力で取り組みます。



お問い合わせ先  
教育政策課 学校改革 PT  
担当者 森田、徳田、森  
TEL 096-333-2673  
Mail tokumei-pt@pref.kumamoto.lg.jp